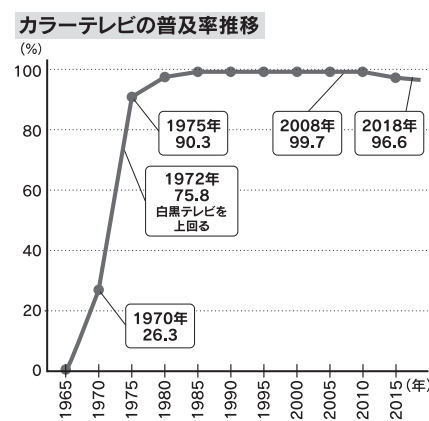


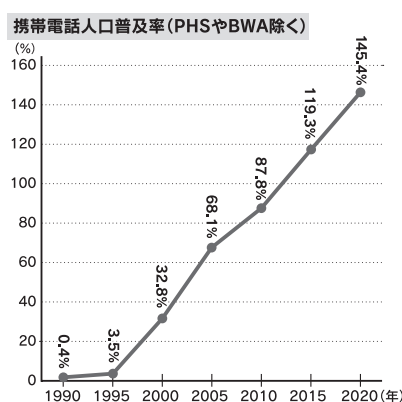
ランチョン塾マーケティングセミナー開催中「参加無料」

毎月第2第4水曜日 12時15分〜12時30分 ※お申込みは塾マーケティングアカデミー公式LINEから



かなり壮大な難問ですね。未来を的確に予測するには歴史を顧みることが最善の手段であるといわれますので、昨今起きた類似現象の歴史をひも解いてみたいと思います。

まず一つに、テレビの普及の歴史をみてみましょう。日本でカラーテレビが誕生したのは1964年、東京オリンピックの年とされます。そして、1970年前後に「急速な普及期」いわゆる「クリティカル・ポイント」を迎え、その後数年で普及率100%になります。このことは、娯楽のあり方、人々の余暇の過ごし方に大変化をもたらしました。人々の生活はテレビを中心とした生活へ。テレビで始まりテレビで終わる1日、テレビで始まりテレビで終わる1年になりました。も一つ、携帯電話の普及



の歴史をみてみましょう。1980年代後半に誕生し、1997年頃に「クリティカル・ポイント」を迎え、やはりその後数年で普及率100%になります。人々の生活は携帯電話を中心とした生活になり、携帯電話がなければ通常の社会生活が送れない時代になりました。

「歴史は繰り返す」のであれば、同じことが、生成AIでも起きるでしょう。もし今年が生成AIのクリティカル・イヤーであるなら、あと数年で人々の生活は「生成AI中心の生活」になります。生成AI中心の生活になれば、教育の役割、中身は「劇的に変わる」と思われます。なぜなら、「調べる」「覚えること」が教育のメインメニューから外れるからです。特に、「調べること」「覚えること」に初等中等教育の大半の時間を割いてきた日本の教育は、根本的な見直しを迫られるでしょう。まず大

この問いに対し、私たちとしては「マーケティングセンスを磨くべき」とお答えしたいと思っています。今さら？と思うかもしれませんが、マーケティングとは、「売る商品やサービスを熟考する前に、ターゲットを熟視すること」から始まるセオリーだからです。マーケティングの神様といわれるフィリップ・コトラーの言葉に、「優れた漁師とは、魚を獲る方法をよく知る漁師ではなく、魚のことをよく知る漁師である」という言葉(意訳)があります。いま、魚(ターゲット)の中で何が起きているのか。常にそこへ高感度なアンテナを立てるセンスさえ持っていれば、いかなる劇変の時代にも対応していくことができると思います。

(文責：塾マーケティングアカデミー主幹 横江史義)

そんな「劇変の時代」を前に、塾の経営者は今から何を準備しておくべきでしょうか。

学入試の中心がガリリと変わり、そこからドミノ倒しのように、高校教育が変わり、高校受験が変わり、小中学校の教育方針が変わることが予想されます。塾は、そのすべての変化に左右されますから、まさに「劇変の時代」を迎えることになります。

塾経営者のためのオンライン塾 塾マーケティングアカデミー

のべ5,000教室以上の学習塾様の販促、コンサルに携わってきた実績と知見、蓄積された事例、データ、ノウハウを活かし、不偏中立の立場から、学習塾の経営者、教室長のみならず耳よりな情報や有益なセミナー等をお届けするオンラインアカデミー。入塾手続きは、公式LINEにお友達登録(無料)していただくのみ。気軽にご登録ください。

入塾金 **0** 円 月謝 **0** 円

入塾はこちら



塾マーケティング
アカデミー
JUKU Marketing Academy

【第7講】 生成AIのクリティカルイヤー といわれる今年。 学習塾の経営はどうか？

このコーナーでは、日ごろ学習塾の経営者や教室長の皆さまから「塾マーケティングアカデミー」に寄せられる質問とその回答の中から、「塾と教育」愛読者の皆さまのお役に立てそうなQ&Aをダイジェストしてお届けいたします。「塾マーケティングアカデミー公式LINE」にお友達登録いただくと、過去の当コーナー誌面や動画コンテンツ等をご覧いただけます。公式LINEのお友達登録(無料)は、左頁の下にあります二次元バーコードより行えます。



いくつかの点に分けてお答えしたいと思います。まず、生成AIが機能的に黎明期であることは確かでしょう。これからたくさんさんの生成AIツールが次々と登場し、多様に進化していくでしょうから、その意味では黎明期です。しかし、「黎明期なので普及はまだ先」にはなりません。本格的な普及はすでに始まっており、識者たちが言っているように、今年は大ブレイクするターニングイヤーになると思われます。たとえば、携帯電話が普及し始めた頃を思い出してみてください。当時の携帯電話は、今でいう「ガラ機」で、現在のスマートフォンから比べると機能的には大きく劣りますが、それでもあつという間に「普及率100%のツール」になりましたよね。要するに、

ChatGPTやGeminiといったさまざまな生成AIツールが登場していますが、まだまだ黎明期、本格的な普及は当面先ではないでしょうか。また、生成AIが普及しても、学校の試験や受験は大きな影響を受けないと思います。この認識は間違っていますか。

「誰にとっても使えば今までになかった圧倒的に利便性を体感できるモノ」は、その後の時代からみて機能的に未熟であったとしても、あつという間に普及します。生成AIも間違いなくそういうツールですから、その時間がからならないうちに、「普及率100%」のツールになるでしょう。もう一つの争点、「学校の試験や受験は大きな影響を受けないのでは」についても、異議ありです。授業や個別指導といった「教務のスタイル」は大きく変わらないかもしれませんが、「生徒募集」と「学習指導」において、大きな変化が起きると思われる。保護者や学生自身が、自分の子どもや自分に合った学習塾を探すときの探し方、選び方のプロセスが大きく変わりますから、今までの生徒募集の方法が通用しなくなりそうです。また、一人ひとりに最適な学習方法を指導する際に「AIの活用は当たり前」になりますから、そこにキャッチアップしていない塾や先生は、自ずと淘汰されていくでしょう。

生成AIの普及は、教育産業にどんな変化をもたらすのでしょうか。

塾マーケティング
アカデミー
JUKU Marketing Academy